

# ああづち

第 157 号

2019 年 12 月 5 日発行

T E L 0193 - 42 - 2111

F A X 0193 - 42 - 3855

発行 大槌町議会

議会報

『煌（きらめく）～青春時代～』  
(大槌高校文化祭 2019 テーマ)



主な内容。審議した議案。。。 2~3

◦決算特別委員会の内容。。。 4~5

◦一般質問。。。 6~11

◦特集 議員としての所信・抱負。12~13

# 新議長あいさつ

9月5日に開会された改選後の令和元年第3回大槌町議会臨時会で議長に選任されました小松剛明でございます。

議会改革について前任期から取り組んでいるところですが、議会の役割や、あるべき姿をいろいろな角度からもう一度見つめ直し、大槌町議会の改革を進めるため、今任期においても真剣に取り組んでいきます。

また、町民の皆様との意見交換や懇談会を企画し、議員自らが研修研鑽に努め、一人一人の議員力を高めていきたいと考えております。

大槌町の議長としての責任を果たしていきたいと思っておりますので、今後とも御支援いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



小松則明議長

令和元年9月定例会

## 一般質問に6議員が登壇

令和元年9月定例会は、10月3日から17日までの15日間の会期で開催されました。本期定例会には、健全化判断比率の状況の報告、大槌町印鑑条例の一部改正、大槌町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正、工事請負契約の締結、令和元年度の各会計の補正予算及び平成30年度の各会計の歳入歳出決算等の認定など、報告2件、議案13件、認定7件、発議案1件が提案されました。

また、一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をたどしました。

◇議案——\*

《条例の改正》

◎大槌町印鑑条例の一部改正：住民基本台帳法施行令等の一部改正に伴い、印鑑登録証明事務処理要領の一部が改正されたことから、改正するものです。

慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に係る法律施行令並びに東日本大震災に対するための特別の財政援助及び助成に関する法律の厚生労働省関係規定の施行等に関する政令の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。

人件費、東日本大震災津波復興交付金返還金、郷土財活用涌水工リア整備などにより補正し、一般会計歳入歳出予算に70億3381万7千円を追加し、予算の総額を280億9427万2千円にするもので。

◇認定一\*

◎大槌町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正：災害弔慰金の支給等に関する

◎令和元年度大槌町一般会計補正予算（第2号）を定めること…

◎平成30年度決算<sup>7</sup>  
件は全員賛成により、  
全て原案のとおり認

議会の動き

19日	岩手沿岸南部広域環境組合 令和元年8月臨時会(金石市)
22日	東京都江東区議会行政視察
23日	改選に伴う議員説明会
26日	中央実行活動・中央研修会
27日	埼玉県議会行政視察 (→27日・東京都)
(9月)	
2日	第5回議会全員協議会
5日	第3回臨時会
11日	議会運営委員会
15日	総務教民常任委員会 ・おおつち敬老の集い
18日	第4回臨時会
26日	第6回議会全員協議会 ・釜石大槌地区行政事務組合 議会臨時会(釜石市)
27日	大槌高校魅力化構想会議
29日	新大槌トンネル及び大 槌橋開通式
30日	議会運営委員会
(10月)	
1日	委員長研修会(盛岡市)
3日	9月定例会(→17日) ・第7回議会全員協議会
4日	いわての地域づくり・道づ くりを考える大会(花巻市)
10日	決算特別委員会(→16日) ・議会報編集特別委員会
24日	産業建設専任委員会視察 研修(釜石市)

# 審議した議案

定されました。

①一般会計歳入歳出  
決算

②国民健康保険特別  
会計歳入歳出決算

③下水道事業特別会  
計歳入歳出決算

④漁業集落排水処理  
事業特別会計歳入歳  
出決算

⑤介護保険特別会計  
歳入歳出決算

⑥後期高齢者医療特  
別会計歳入歳出決算

⑦水道事業会計決算

◎健全化判断比率の  
状況報告：平成30年  
度決算は各会計とも  
赤字及び資金不足は  
なく、実質赤字比率、  
連結実質赤字比率、  
将来負担比率は生じ

## ◇ 報 告 — \*

- ◎釜石大槌地区行政事務組合議会議員の選挙：芳賀潤議員、金崎悟朗議員、阿部三平議員、澤山美恵子議員、菊池忠彦議員の5人が当選されました。
- ◎岩手県沿岸知的障

## 第3回臨時会

ていません。実質公債費比率は10・7%です。

害児施設組合議会議員の選挙：佐々木慶一議員が当選されました。

令和元年第3回臨時会は、9月5日に開催されました。

## ◇ 選 挙 — \*

◎大槌町議會議長の選挙：大槌町議會議員選挙後初めてとなるこの臨時会で、小松則明議員が議長に当選されました。

◎岩手沿岸南部広域環境組合議会議員の選挙：東梅康悦議員と阿部俊作議員が当選されました。

◎岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙：東梅守議員が当選されました。

◎常任委員の選任：総務教民常任委員及び産業建設常任委員は、次のとおり選任されました。

◎大槌町議會議長の選挙：芳賀潤議員が副議長に当選されました。

## ◇ 選 任 — \*

◎議会運営委員の選任：議会運営委員は次のとおり選任されました。

【委員長は○、副委員長は○】  
◎議会運営委員会  
○阿部義正 委員  
○菊池忠彦 委員  
○阿部俊作 委員  
○東梅康悦 委員  
○佐々木慶一 委員  
○澤山美恵子 委員  
（委員長は○、副委員長は○）  
◎議会運営委員の選任：議会運営委員は次のとおり選任されました。

◎議会運営委員の選任：議会運営委員は次のとおり選任されました。  
（全員賛成・原案同意）  
◎大槌町監査委員の選任：議会運営委員は次のとおり選任されました。  
（全員賛成・原案同意）  
◎大槌町上水道事業給水条例の一部改正：水道法の一部改正及び消費税率の改正に伴い、改正するものであります。  
（全員賛成・原案可決）

## ◇ 議 案 — \*

令和元年第4回臨時会は、9月18日に開催されました。

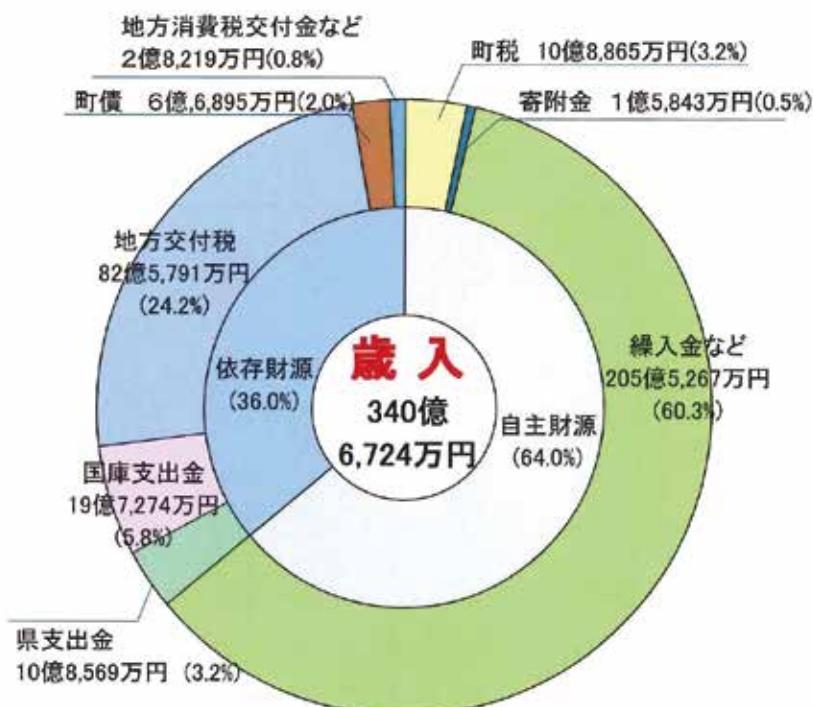
## 第4回臨時会

26日・心のぬくもり作文表彰式	25日・第8回議会全員協議会
25日・岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会（盛岡市）	27日・おおつち産業まつり組合議会定例会（宮古市）
24日・岩手県沿岸南部広域環境組合議会定例会（釜石市）	28日・岩手県沿岸知的障害児施設連合議会臨時会（盛岡市）
23日・第9回議会全員協議会（花巻市）	29日・福島県南会津町議会行政視察研修
22日・町村議会広報担当者研修会（盛岡市）	30日・岩手県後期高齢者医療広域連合議会（盛岡市）
21日・岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会（盛岡市）	11月・議会運営委員会合定例会（釜石市）
20日・大槌町社会福祉大会（花巻市）	9日・ふるさと大槌会（東京都）
19日・岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会（盛岡市）	11日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
18日・大槌町社会福祉大会（花巻市）	12日・岩手県町村議会議長会定例調査会研修会（東京都）
17日・大槌高校魅力化推進構想調査会（東京都）	13日・ふるさと大槌会（東京都）
16日・大槌町社会福祉大会（花巻市）	14日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
15日・第5回臨時会議	15日・議会報編集特別委員会会議
14日・議会報編集特別委員会会議	16日・大槌町社会福祉大会（花巻市）
13日・議会報編集特別委員会会議	17日・大槌高校魅力化推進構想調査会（東京都）
12日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	18日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
11日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	19日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
10日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	20日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
9日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	21日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
8日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	22日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
7日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	23日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
6日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	24日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
5日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	25日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
4日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	26日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
3日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	27日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
2日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	28日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
1日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	29日・議会運営委員会合定例会（釜石市）
30日・議会運営委員会合定例会（釜石市）	31日・議会運営委員会合定例会（釜石市）

## 平成30年度決算を審議

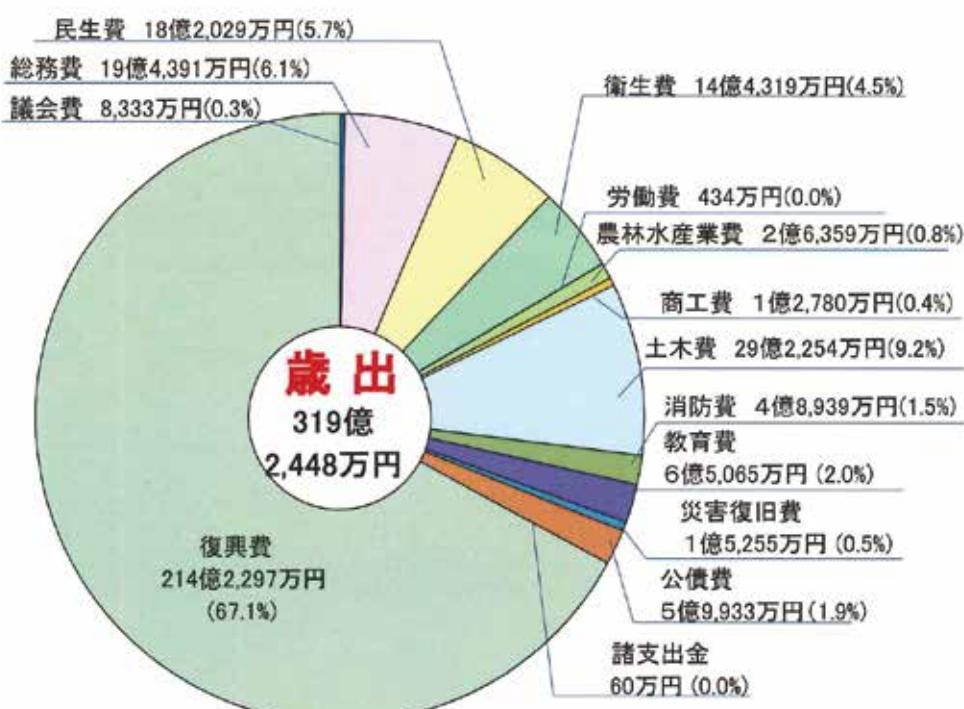
町税収入 前年度比4.7%増 個人所得も回復

## 《一般会計決算の内訳》



## ◇ 決算特別委員会 — \*

決算特別委員会は、10月10日から16日までの日程で開催されました。委員長には芳賀潤議員、副委員長には佐々木慶一議員を選出し、本会議で付託された平成30年度一般会計歳入歳出決算など7会計について審査しました。決算特別委員会での審査終了後、本会議を再開し、30年度の一般会計歳入歳出決算など7会計の決算は、いずれも原案のとおり認定となりました。以下、質疑の一部を紹介します。



# 決算特別委員会の内容

## 歳 入

◎質疑：住宅使用料の収入未済額が昨年と比べて300万円ほど多くなっている。徴収の仕方を考えていかない町財政にとつて深刻な問題となつてくると思うが、収納率を高めるために今後、どのように徴収していくのか

◎答弁：滞納指導を続けていく。また、土木使用料だけではなく税の関係等も含め、町全体としての取り組みをしていきたい。

## 総務費

◎質疑：東日本大震災追悼式の運営費が570万円。続けていくべきと思うが、従来どおり未来永劫、同じような規模で続けていくのか。

◎質疑：農林水産業費については、昨年度、基本計画の中で策定。現在、追悼の場の検討を進めている。慰靈碑のデザインなどについての検討は、まだ進んでいない。先にアンケート調査を実施したいと考えている。

## 農林水産業費

◎質疑：町単独事業の農産物等生産振興事業補助金240万円は、農家にかなり役立つてはいるが、この事業が農家にいき渡っているの

しなかつた規模の災害のため、町として追悼の場という形をとり、継続していくべきと考

か、まだ使い勝手に難があるのか、どのように認識か伺いたい。

◎質疑：三陸・おおつちPR大使8名については、町外に発信していただくことを目的として委嘱したが、出向いてもらつて町内を盛り上げるというやり方も一部取り入れたほうがいいのではないか。

◎答弁：鎮魂の森整備についても、農家が効率よく生産ができるような体制を図つていく。

◎答弁：町内外に関する認定、被災なし33件)だった。この結果について伺う。

◎質疑：国土調査費事業について、進捗状況と今後の見通しについて伺う。

◎答弁：30年度においては、長井地区、生井沢地区、須賀町栄町の一部を行つてはいる。今

年度も長井地区の調査を行つてはいるが、容易に進んでいない状況。事業費の確保を図りつつ、早めに国土調査ができるよう、国・県に交渉し取り組んでいく。

## 教 育 費

◎質疑：吉里吉里学園のエアコン設置設計業務委託料について伺う。設置の現状は。

◎答弁：吉里吉里学園の工事完了し使

## 商 工 費

◎質疑：三陸・おおつちPR大使8名については、町外に発信して

用開始となつてはいる。中学校部については、3学期から使用可能ということで進めている。

◎質疑：「100万円の補助金がついたから、私は建てたんだ」というところが成果として出てこないといけないと思う。しっかりと示した中での成果でなければならぬと思う。

◎答弁：家を建てようと思っていた人が、2年の期限付きではあつたが、早く仮設住宅から出て、新たな生活を

していただきことにながつたのだと思う。

制度については2年間限定であるため終了となるが、空いている土地をうまく活用できるよう、新たな手段を打ちながら、町の活性化を進めていきたいと強く思つている。

## 復 興 費

◎質疑：区画整理地内事業について、補助金を出すことで2年間やつてきた。30年度は120件(被災者87件、被災なし33件)だつた。この結果についてどのような感想を持つ

ているか伺う。

◎答弁：早期の住宅再建を促してまちづくりを行いたいというのが当初の目的である。この補助事業を始めるに当たつて、地権者などから意向調査を行つて、5億円という事業費もとつた。放つておけばまちづくりが遅くなると危惧されたため、この補助金によつて早期の住宅再建を促したと





芳賀 潤 議員

## 新たな空き地対策を打ち出す考えは

### 各分野の視点から施策の検討を進める

今後の空き地対策について

【問】空き地バンクや住宅建設補助、U-Iターン補助制度など、さまざまな政策で、空き地対策や人口流出防止、人口拡大策を講じては来たが、現状を見ると及第点とは言えないと思つてている。今後の空き地等の対策について次の点について伺う。

補助対象者の拡大等、あるいは現在の補助制度に代わる新たな建築補助制度の創出等、新たな策を打ち出す考えは。

収束しつつあるため、新たな土地の利用需要の発掘を図るべく、今後は総合的な地域・産業振興施策を進め、雇用機会の創出やリエイターンの促進等、移住定住者に対して住宅取得の後押しを図る宅地取得補助の継続を検討しつつ、各分野の視点から施策の検討を進め、空き地の利用促進を図りたいと考えている。

保健センターの事業内容・人員配置について  
【問】①臨床心理士や作業療法士、看護師、保育士の採用・育成計画はあるのか伺う。  
②病児保育事業の実施をどのように考へているのか伺う。  
③実施設計をどのように行つていくのか伺う。

産業の再生について  
【問】外国人就業者の存在が欠かせない状況であることが多種多用な分野で報告されているが、今後の取り組みについて伺う。

【答】（平野町長）  
①人員の確保育成の考えは今のところない。  
②専門的な職員が伴うことをから町立で運営する二  
果的にPRを図るため、町内業者に加え釜石地区の業者を対象とするよう検討していく。

【答】（平野町長）  
区画整理地内の住宅建設補助制度については、被災者の住宅再建の数は収束しつつあるため、新たな土地の利用需要の発掘を図るべく、今後は総合的な地域・産業振興施策を進め、雇用機会の創出やリエイターンの促進等、移住定住者に対して住宅取得の後押しを図る宅地取得補助の継続を検討しつつ、各分野の視点から施策の検討を進め、空き地の利用促進を図りたいと考えている。

保健センターの事業内容・人員配置について  
【問】①臨床心理士や作業療法士、看護師、保育士の採用・育成計画はあるのか伺う。  
②病児保育事業の実施をどのように考へているのか伺う。  
③実施設計をどのように行つていくのか伺う。

産業の再生について  
【問】外国人就業者の存在が欠かせない状況であることが多種多用な分野で報告されているが、今後の取り組みについて伺う。

【答】（平野町長）  
各課室の現状と次年度以降における業務量及び、希望定員数等を把握するための所属長のヒアリングを実施し、町の復興事務事業の評価による取り組みや、適切な人材や経費の精査を行い、選択と集中を図るとともに町民と行政の協働による取り組みや、適切なア

【答】（平野町長）  
町では沿岸の基幹産業である水産加工業の人材確保に必要な受け入れ環境整備の支援を目的として、水産加工業者を対象との連携についても検討していく必要があると

ても、重要度の高い業務への重点的な職員配置や組織の統廃合については柔軟に対応し、行政サービスの低下を招くことのないようにスリムで効率的な行政運営を目指していく。

# 将来を見据えたコミュニティの基盤整備は

## コミュニティ協議会を含め検討していく



澤山美恵子議員

**【問】** 金澤地区・小鎌地区でデイサービスや訪問介護・訪問入浴を受けられない住民がいると聞かが。

**【答】(平野町長)** 地区を限定してお断りすることはないが、送迎が自宅前まで安全に迎えに行くことができない場合や希望の曜日の定員に空きがないなどの理由でお断わりをすることはある。今後もサービス利用を希望する高齢者ニーズに沿えるよう町内介護サービス事業者と連携し、よりよいサービスの提供ができるよう取り組む。

**【答】(平野町長)** 高齢化の上昇に伴い、介護認定者率も上昇することが予測される。介護予防・日常生活権益二一調査を実施し、大槌町老人福祉計画・介護保険事業計画に反映するよう取り組む。

**【問】** コミュニティ協議会には、小鎌川流域は沼内まで大槌川流域は白澤で、それより奥の地区は入っていないが、その理由と当局の認識は。

**【答】(平野町長)** 総合計画で掲げる着実な復興まちづくりを進めるとともに、大槌の明るい将来を見据え持続可能なまちづくりを地域住民との協働のもと進めていくために、住民の皆様との対話の機会を立ち上げるべく、コミュニティ協議会を含め検討していく。

**【答】(平野町長)** 避難者が少なかつたことについての見解と、より多くの町民に避難してもられるような仕組みづくりが必要だと思うが。

### コミュニティについて

【問】高齢化が進むにつれ、介護サービスはすべての希望者がサービスを受けられるよう仕組みづくりが必要だと思うが。

**【答】(平野町長)** コミュニティ協議会は「協働・連携の創出の場」として開催しており、地域や要件を限定せず、広く町民の皆さんに参加を呼びかけている。今後は活動団体の状況把握や連携強化に努め、連携・協働創出の場への参加を促進していく。

**【答】(平野町長)** 避難勧告を発令したのが大雨のピークを過ぎていたことが大きな理由と考えられる。町からの早期情報提供や注意喚起などの「公助」「共助」「自助」が最も重要なことから、町民の皆さん一人一人の防災意識の高揚を図るため、出前講座や防災訓練等に積極的に取り組む。

**【答】(平野町長)** 本格運行を計画している。

### 町民バスについて

【問】町内の主要施設をめぐる「循環バス」のルートや開始予定期は。

7



新大槌トンネル大ヶ口側

**【答】(平野町長)** 年内の試験運行を目指しており、来年度以降の本格運行を計画している。

**【問】** 防災移転事業などで主要道路から遠く離れた高台で暮らす住民から「バスを通してほしい」という声が出ていて、その検討状況と今後の方向性は。

**【答】(平野町長)** 住民からのニーズや必要性について十分に理解しており、既存の町民バスや今後の運行を計画している循環バスを視野に検討を進めている。

### 避難者が少なかつたことについての見解と、より多くの町民に避難してもられるような仕組みづくりについて、課題や検討状況は。

【問】8月28日の大雨では避難勧告が出されたが、

# 御社地天満宮再建はどうなつた



阿部俊作議員

## 歩車分離式信号について

【問】県道26号線と三陸自動車道沢山インターチェンジの交差点の信号は、  
【問】各住宅地にナーラー設置の要望が設置の考えは。

## 産業振興について

【問】農業支援として、漆・山菜栽培等を考えてはどうか。

【答】（平野町長）  
樹木医に樹勢診断を委託し、倒木の可能性があることから伐採した。

考えは。  
【答】(平野町長)

なぜ「歩車分離」にならないのか。

【答】(平野町長)  
施設管理者(岩手県警察本部)の判断で現在のような信号になつた。

口地区に設置した。今後  
も要望に柔軟に対応する。

**【問】**町民バス運行ルートやダイヤ改正はどのよう  
に考えているか。

【答】(平野町長) 本年度は試験運行し、通院・買い物利用を分析して効率的・効果的な運行を目指す。

【答】(平野町長)  
外国人就業など、多角的に対応して国等に要望する。

## 大植歴史・文化について

の思いも伝え、これから自然に向  
き合うことを学ばな  
ければならない  
と考える。町長の



大宰府天満宮の池

# 大槌川・小鎌川の河川内立木の伐採は

県との協議、町独自の現地調査を検討する



東梅康悦議員

【答】(平野町長)  
両河川は県事業により堆積土砂の除去は実施され、あわせて立木の伐採も実施していただいている。堆積土砂の除去を行わない箇所は立木の伐採計画はない。今後、県と

の協議及び町独自での現地調査の実施等を検討する。

【問】河川内の立木の適正な伐採を実施し、流域に住む人々の安全・安心の確保に努め、また湾内に流出する流木を減らし、漁業者の経営に支障が及ぼないようにするためにも両河川の立木の適正な伐採を行うべきと考えるが見解を伺う。



小鎌川河川内の立木状況

高齢ドライバーの免許返納対策について

【問】近年、免許を自主返納する高齢者が増加している。町の中心地から離れたところに住む人ほど喫緊の課題となりつづり、通院、買い物、用足しなど日々の生活があるとき、行政としてどのようにこの社会の課題を捉え、対応するのか伺う。

【答】(平野町長)  
防犯灯については設置

防犯灯・街路灯について

【問】防犯灯・街路灯は住民の日常生活に大きな安心感を与えていた。住宅再建も町内各地で行われており、ニーズの高まりにどのように対応しているのか伺う。

【答】(平野町長)  
仮設住宅周辺の街路灯については、東北電力・

NTT東日本の電柱へ街路灯を添架していることから、電柱の利用計画を確認し、存続について検討していく。

【問】仮設団地を結ぶ町道には、今まで防犯灯・街路灯が充実していたが、仮設住宅解体後はどうなるのか。

【答】(平野町長)  
町では65歳以上を対象としたアンケートを隔年で実施し、日常の移動手段など現状把握に努めている。アンケート調査の結果に応じて必要な方々には面談等を通じて買い物支援サービスの「あんしん助つ人便」や介護支援の一環でヘルパーが代行するなど、きめ細やかに相談に応じている。今後についても免許返納希望者等が車の生活から公共交通を上手に利用する生活にスマートに移行できるよう支援策の検討を進める。

【問】仮設住宅周辺の街路灯については、東北電力・NTT東日本の電柱へ街路灯を添架していることから、電柱の利用計画を確認し、存続について検討していく。



菊池忠彦議員

## 郷土芸能の取り組みについて

### 拠点施設の整備を早急に検討したい

郷土芸能拠点施設整備  
進捗状況について

【問】平成28年8月に町郷  
土芸能保存団体連合会が、  
郷土芸能拠点施設整備の  
要望をしたが、現在の進  
捗状況と実現の可能性を  
伺う。

【答】（沼田教育長）  
要望については、町郷  
土芸能保存団体連合会の  
事務局を通じて、施設の  
規模等を含めた概要書の  
提出を求めていているところ  
であり、今後、提出され  
次第、具体的な検討を行  
っていきたい。

【問】郷土芸能拠点施設の  
概要書については、先日、  
業者に依頼し作成してい  
ます。



町の郷土芸能の一つ「虎舞」

る最中である。郷土芸能  
に携わる者として、町内  
外に当町の誇り高き文化  
の郷土芸能をアピールで

きる場所として、当該施  
設の必要性を認識してい  
る。それらを踏まえ、當  
局の見解は。

【答】（沼田教育長）  
概要書の提出がなされ  
たら、すぐによりかかり  
たい。

【問】当町では、人  
口規模に比べ、19  
の郷土芸能団体と

多くの団体が存続  
している。町外へ  
発信する場がなく、  
そのような郷土芸  
能が盛んな町だと  
認識してもらえず、  
非常にもつたない  
いことになってしま  
る。そのような状  
況を踏まえ、町当  
局は当該施設の必  
要性をどう考えて  
いるか伺う。

【答】（沼田教育長）  
郷土芸能は文化そのも  
の。町外にもよさを広め、  
文化と伝統を子供たちに  
引き継がせたいと考え  
いる。早急に当該施設整  
備の検討を進めたい。

【問】遊具がないため、公  
園に子供の遊び声がない。  
そのため町にぎわい  
を感じられない。それら  
を踏まえ公園へ遊具設置  
の可能性を伺う。

【答】（澤館副町長）  
に留まっている。

【問】遊具がないため、公  
園に子供の遊び声がない。  
そのため町にぎわい  
を感じられない。それら  
を踏まえ公園へ遊具設置  
の可能性を伺う。

【答】（澤館副町長）  
思うが、それについての  
考え方を伺う。

【問】復興きらり商店  
街の跡地に、子供の  
遊び場等と郷土芸能  
拠点施設を併設し、  
町外からの集客を図

【答】（川野都市計画  
課長）  
震災復興地区画整備  
事業、防災集団移転促進  
事業の事業目的に、複合  
遊具を有する大規模な公  
園等の整備はそぐわない  
ことから簡易な施設整備

【答】（平野町長）  
震災復興地区画整備  
事業を踏まえ、町当  
局は当該施設の必  
要性をどう考えて  
いるか伺う。



寺野集会所に隣接する遊具のない公園

# 避難場所への避難道整備は

関係法令と照らし合わせながら検討する



佐々木慶一議員

公用車の運用規定について

【問】公用車配備における「安全運転管理者」の配置状況及び公用車の運用基準は。

【答】(平野町長)

安全運転管理者は、町長部局に管理者1名、副管理者3名、教育委員会に管理者1名、副管理者1名を配置している。公用車の運用基準は「公用車運行管理規定」に基づき運用されている。基本的に運転免許を持つている職員は誰でも公用車を運転できる。



大槌町所有の公用車（一部）

のり面の崩れが進み、避難道として危険な状態である。町当局の認識は。

【答】(平野町長)  
大槌稻荷神社への避難道路の劣化状況は以前から重々承知しております。応急対応策として路面穴埋め補修等を行つたことがあります。当該避難道路は私有地であることから、恒久的な工事は難しいと考えるが、大槌稻荷神社は町指定緊急避難場所となりました。また、運転者の安全意識の向上と交通事故原因等の把握のため、公用車へのドライブレコーダーの設置を順次進めていくことを指示した。

大槌稻荷神社への避難道整備について  
【問】東日本大震災の際、被災しなかつた神社は住まいを奪われた住民の避難生活を支えた。このうち大槌稻荷神社への避難道は長年の使用・風化により、路面の痛みや路肩



老朽化が進む避難場所への避難道

【答】(平野町長)  
必要な対応について、関係法令と照らし合わせながら検討する。  
【問】町として大槌稻荷神社避難道の整備をどのように進めていくか。

なっており、地震津波災害時等における町民の安全確保の観点から、避難者が避難場所まで安全に到達できるよう整備及び維持管理が必要と考える。



## 特集 議員としての所信・抱負



東日本大震災復興議員として真摯に取り組ませていただきました。大槌町はまだまだ復興とは言いがたく、さまざまに問題を抱えていると感じています。特にも災害に強い町、防災力の強化が、町民の安心安全に欠かせないと考えます。一つ一つの問題解決に向けて、微力ではありますが町民の皆様の声を大切にしながら、初心を忘れず、未来につながるよりいまいちづくりに努めてまいります。

東日本大震災より8年  
8ヶ月が経過し町の復興  
も大分進んできています  
人口減少を初め諸課題を  
多く抱える大槌町ですが  
第9次大槌町総合計画を  
確実に実施し、あわせて  
その成果をしっかりと見極  
めていかなければなりません  
せん。自然災害が各地で  
発生し、被災地と呼ばれる  
地域が多数出ていると  
き、復興元遂を目指す町  
の議員として責任のある  
言動を心がけて、その職  
務を果たしていきたいと  
考えています。多くの町  
民の方々の御指導をお願  
い申し上げます。

安心して暮らせる町へ  
及川 伸  
この度の改選におきまして、町民の皆様方の温かい御支援をいただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。  
さて、現在の安倍政権のもとにおいて日本経済は回復基調にあると報じられておりますが、地方ではなかなかその実感を感じられない状況にあります。また、少子高齢化の加速で自治体力や経済活力の低下も懸念されています。地方議員には、地域主権及び地方自治の進展に的確に対応できるよう、議会の質を高めていくこと、各々が独自の政策立案あるいは提言を行なうことが求められています。今後4年間、町民の皆様の多様な意見を把握し、適切に反映できるように皆様方とともに考え、「安心して暮らせるまちづくり」を実践するために、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

**議員としての抱負**

金崎 悟朗

新時代に入り、再度、  
町民の皆様より議会の場  
へ御推挙くださいまして  
感謝しています。

あの忌まわしい大災害  
後、復興もやつと最終段  
階にきていますが、近年  
ははかりきれないほどの  
自然災害に悩まされてい  
ます。

私は既存の解決方法で  
は安心した生活ができるな  
いことを訴え、町民の声  
を行政の場へ届け、災害  
を未然に防止すべく取り  
組む覚悟であります。ま  
た、現在の町民の年齢構  
成を見ますと、高齢者が  
多数を占め、今後は通院  
買い物等にも不便な状況  
が発生する事が予測でき  
ます。これから行政は  
高齢者に優しい安心・安  
全な暮らしができるよう  
に議員として取り組んで  
まいりたいと思います。

町民の皆様の御意見、御  
要望をどしどしお聞かせ  
くださいますようお願ひ  
申し上げます。

**住民自治に思う** 阿部 義正

副議長 芳賀潤  
私は二期目の4年間は副議長として、誠心誠意努めてまいりました。国の復興期間も終盤に入り、被災地の要望などで復興庁の後継組織のあり方にも着手したとも聞いております。復興完遂はもとより、元々の地域課題の解消に向けた取り組みも進めなければなりません。

市民にとって関心のある議会であり、また当局とは是々非々の姿勢で議論を重ねなければならぬと考えており、行政運営をしつかりと点検していかなければならぬと思います。

市民の皆様が議会へ感心を持ってるように、またその感心を期待へ、そして、その期待に応えられるよう努めていきます。この町に住む皆様が「住んでよかつた」と思つまちづくりを目指していきたいと思います。

初心にかえり

東梅  
守

議員としての決意

康悦

安心して暮らせる町へ

11

議員としての抱負

悟朗

住民自治に思う

部  
義

議員としての抱負

潤

# 表紙写真



# 表紙タイトル



表紙の写真は、10月20日に行われた大槌高校の文化祭の様子です。私が観に行つたときは、アームレスリングでとても盛り上がつていました。後日、関係者から聞いた話によると、対戦を勝ち上がつた人の中には腕や肩を痛めて、整骨院に通院した人がいたとか…。(大丈夫でしたでしようか…)

生徒の皆さん、文化祭お疲れさまでした。



今回の表紙タイトル「おおつち」は、大槌高校1年生（30年度3月時）の越田好葉さんに書いていただきました。デザインに込められた思いを伺いました。

Q 大槌町のどんなところ  
が好きですか。

A 大槌町の落ち着いた雰  
囲気が好きです。

Q 大槌町がどんな町に  
なつたらいいと思います  
か。

A 復興して建物がたくさ  
ん建ち、明るく元気な大  
槌町になつてほしいと思  
います。

### 定例会 議員出欠表

議 席 番 号	議員氏名	9月定例会		第3回臨時会		第4回臨時会	
		10/ 3 ~ 17		9 / 5		9 / 18	
		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1	菊池 忠彦	5	0	1	0	1	0
2	白澤 良一	0	5	0	1	0	1
3	佐々木慶一	5	0	1	0	1	0
5	澤山美惠子	5	0	1	0	1	0
6	阿部 三平	5	0	1	0	1	0
7	東梅 守	5	0	1	0	1	0
8	阿部 傑作	5	0	1	0	1	0
9	東梅 康悦	5	0	1	0	1	0
10	及川 伸	5	0	1	0	0	1
11	金崎 悟朗	5	0	1	0	1	0
12	阿部 義正	5	0	1	0	1	0
13	芳賀 潤	5	0	1	0	1	0
14	小松 則明	5	0	1	0	1	0

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていたらしく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おおチャンネル」でも視聴いただけます。



● 12月定例会は12月6日(金)開会予定です  
(予定は変更される場合があります)

離な人でした。その人は数十年ぶりに「ふるさと大槌会」で会いました。すっかり東京弁。また、あの方言を聞きたいな。ふるさとを伝える言葉は方言が似合いますね。

議會報編集特別委員會	委員長	阿部俊作
	副委員長	菊池忠彥
委員	佐々木慶二	
委員	阿部三平	
委員	及川伸	
委員	阿部義正	

▼「ボエラエ!」にて大植の皆さんには、わかりますよね!（急にとか突発的）

編集後記